

講義コード	11C0289800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期																																																																	
科目名	特別講座〈金融知力論〉					経済学部		第1期																																																																	
履修前提条件					備考																																																																				
授業の目的	<p>諸君は大学生になるまでは、「これまでに既に起きたこと」を学んできました。「既に起きたこと」は変わりようがありませんから必ず正解があり、それらを覚えておけば済みました。つまり、ただか「要領良く正解を教えてもらって覚えるだけ」という程度のことやってきたに過ぎません。</p> <p>しかし、諸君がこれから歩を進めていく実社会は「明日を創っていく社会」ですから、そこに最初から決まり切った正解なんかありません。自分で自分の答えを創り出して行くしかないのです。</p> <p>実社会で諸君が自ら成長し自分の人生を築き上げていくことは、企業がより良い企業となることを目指して経営していくことと同じです。つまり、諸君のこれからの人生は「自分株式会社を経営していくこと」に他なりません。それには、自ら考えて決断し行動する「賢い経済主体」となる、という大きな方向転換が必要なのです。そしてそのためには、まずは市場経済や契約社会の仕組みを実感として理解し、様々なリスクや不確実性に果敢に立ち向かっていく能力と気概を身に付ける必要があります。</p> <p>経済や法律などの学問的知識に加え、金融や投資などファイナンスに関する実践的な知識を得てそれらを日常的に活用していくことは、単にお金の問題に役立つだけでなく、より良い人生や社会の実現に欠かせないのです。</p> <p>本講義の目的は、諸君が人生のさまざまな局面で的確に決断し行動できるよう、ファイナンスの知識や考え方を含めた実践的なビジネスインテリジェンスの基本を身に付けることです。</p>																																																																								
到達目標	<p>主としてファイナンスの観点から、実践的なビジネスインテリジェンスの基本を身に付ける。</p> <p>諸君が、将来直面する経済生活やビジネスライフにおいて、「賢い経済主体」として適宜的確に行動できるようになることを目指します。</p> <p>講義にただ出席して教科書を開いているだけでは、この目標に到達することはあり得ません。「講義を毎回きちんと受講し、自分で考えて講義内容を理解し行動する」という自分自身の努力が不可欠です。</p>																																																																								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>① 受講内容の予習と復習を行い、身近な経済・時事問題などに疑問を持って考え、自分の言葉で整理してみること。</p> <p>② 成績評価の一つとなる下記の課題レポートは表計算ソフト「エクセル」で出題するので、提出期限（定期試験当日を予定）までにこの課題レポートに必要な事項を調査・入力し、内容を精査すること。（講義では「エクセル」の使い方は教えませんが、フォーマットを提示するので入力と確認が必要です。）</p> <p>※以上を合計60時間以上とする。</p>																																																																								
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> <th>＜テキスト対応ページ＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>イントロダクション</td> <td>：「経済主体としての立ち位置」</td> <td>< P 4～15 ></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>経済・金融の基礎知識①</td> <td>：「国際経済と国家財政」</td> <td>< P38～49 ></td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>経済・金融の基礎知識②</td> <td>：「市場経済と金融の役割」</td> <td>< P16～29 ></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>法律の基礎知識</td> <td>：「契約の基本」</td> <td>< P147～149・152～159 ></td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>リスクと向き合う①</td> <td>：「リスクマネジメント」</td> <td>< P74～81・150～152・159～161 ></td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>リスクと向き合う②</td> <td>：「リタイアメント」</td> <td>< P82～91 ></td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>投資の基礎知識</td> <td>：「投資とは何か」</td> <td>< P92～98 ></td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>経済活動と金融市場</td> <td>：「景気・株価」</td> <td>< P30～37・50～53 ></td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>金融商品の基礎知識①</td> <td>：「代表的な金融商品（株式等）」</td> <td>< P118～129 ></td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>金融商品の基礎知識②</td> <td>：「代表的な金融商品（債券他）」</td> <td>< P111～118 ></td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>金融商品の基礎知識③</td> <td>：「金融市場と金融商品の性格」</td> <td>< P99～111 ></td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>投資のリスク管理</td> <td>：「資産分散と時間分散」</td> <td>< P130～146 ></td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>ライフプランニング①</td> <td>：「ライフプランニング表」</td> <td>< P54～63 ></td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>ライフプランニング②</td> <td>：「プラン見直しと人生の三大資金」</td> <td>< P64～73 ></td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>全体まとめ</td> <td>：「講義全体のレビュー」</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									回数	テーマ	内容	＜テキスト対応ページ＞	第1回	イントロダクション	：「経済主体としての立ち位置」	< P 4～15 >	第2回	経済・金融の基礎知識①	：「国際経済と国家財政」	< P38～49 >	第3回	経済・金融の基礎知識②	：「市場経済と金融の役割」	< P16～29 >	第4回	法律の基礎知識	：「契約の基本」	< P147～149・152～159 >	第5回	リスクと向き合う①	：「リスクマネジメント」	< P74～81・150～152・159～161 >	第6回	リスクと向き合う②	：「リタイアメント」	< P82～91 >	第7回	投資の基礎知識	：「投資とは何か」	< P92～98 >	第8回	経済活動と金融市場	：「景気・株価」	< P30～37・50～53 >	第9回	金融商品の基礎知識①	：「代表的な金融商品（株式等）」	< P118～129 >	第10回	金融商品の基礎知識②	：「代表的な金融商品（債券他）」	< P111～118 >	第11回	金融商品の基礎知識③	：「金融市場と金融商品の性格」	< P99～111 >	第12回	投資のリスク管理	：「資産分散と時間分散」	< P130～146 >	第13回	ライフプランニング①	：「ライフプランニング表」	< P54～63 >	第14回	ライフプランニング②	：「プラン見直しと人生の三大資金」	< P64～73 >	第15回	全体まとめ	：「講義全体のレビュー」	
回数	テーマ	内容	＜テキスト対応ページ＞																																																																						
第1回	イントロダクション	：「経済主体としての立ち位置」	< P 4～15 >																																																																						
第2回	経済・金融の基礎知識①	：「国際経済と国家財政」	< P38～49 >																																																																						
第3回	経済・金融の基礎知識②	：「市場経済と金融の役割」	< P16～29 >																																																																						
第4回	法律の基礎知識	：「契約の基本」	< P147～149・152～159 >																																																																						
第5回	リスクと向き合う①	：「リスクマネジメント」	< P74～81・150～152・159～161 >																																																																						
第6回	リスクと向き合う②	：「リタイアメント」	< P82～91 >																																																																						
第7回	投資の基礎知識	：「投資とは何か」	< P92～98 >																																																																						
第8回	経済活動と金融市場	：「景気・株価」	< P30～37・50～53 >																																																																						
第9回	金融商品の基礎知識①	：「代表的な金融商品（株式等）」	< P118～129 >																																																																						
第10回	金融商品の基礎知識②	：「代表的な金融商品（債券他）」	< P111～118 >																																																																						
第11回	金融商品の基礎知識③	：「金融市場と金融商品の性格」	< P99～111 >																																																																						
第12回	投資のリスク管理	：「資産分散と時間分散」	< P130～146 >																																																																						
第13回	ライフプランニング①	：「ライフプランニング表」	< P54～63 >																																																																						
第14回	ライフプランニング②	：「プラン見直しと人生の三大資金」	< P64～73 >																																																																						
第15回	全体まとめ	：「講義全体のレビュー」																																																																							
成績評価の方法	<p>下記のとおり、本講義と課題に対する取り組み姿勢や理解度等を総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験：20%（経済やファイナンスに関する知識の正確性を評価します。試験範囲は講義全体です。） ・レポート：50%（自分で考えて調査し問題解決する能力、即ち、全講義を受講して得た知見を評価します。） ・平常点：30%（全員の受講状況と態度、質疑応答、課題・討議などを評価します。出席点ではありません。） <p>講義にただ出席して教科書を開いているだけでは、目標に到達することはあり得ませんから、当然ながら単位も取得できません。毎回きちんと意識を集中して受講し、「自分で考えて講義内容を理解し行動する」という自分自身の努力を積み重ねる必要があります。</p> <p>なお、レポート課題は大学内の情報システムを通じて掲示・連絡しますので、学内情報システムの利用や連絡設定は各自で事前に必ず行ってください。</p>																																																																								
フィードバックの内容	<p>講義の中で提示した課題については、当日の講義中または次回の講義で検討と解説を行ないますので、知識の確認に適宜役立ててください。</p>																																																																								
教科書	『今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎』（金融知力普及協会）																																																																								
指定図書																																																																									
参考書																																																																									
教員からのお知らせ	<p>本講義は、教科書を使用した講義形式の授業により、次の三つのステップで進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 先ずは経済主体としての視点で、社会の仕組みの全体観を把握し、様々な課題や対処法を認識します。 ② 次に、金融の基礎知識を、大学で学ぶ様々な専門知識と関連付けながら、実践的に学んでいきます。 ③ 更に、それらを統合的に活用する能力（＝金融インテリジェンス）を、社会生活に応用する方法を学びます。 <p>なお、本講義では毎回必ず教科書をベースに講義を進めるため、レジュメ等の資料を配布することは一切ありません。受講者は指定された教科書を必ず持参してください。</p> <p>但し、教科書は単なる教材として手元資料的に利用するに過ぎず、講義内容は教科書通りではありませんので、毎回きちんと聴講しなければ成果は得られません。</p>																																																																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。																																																																								
その他	<p>本講義は「受講者の誰もが覚えられるように一つ一つ教えていく」のではなく、初回「イントロダクション」でも説明するように、全15回を通して受講することによって、情報収集・取捨選択能力、考える力、判断力などの実力が付くように構成してあります。このため本講義を聴講すると、諸君は実践と同じく、広範で大量の情報が一方的に流れてくることを経験することになります。</p> <p>しかし、諸君は既に大学生なのだから、「自分に分かる程度のことを自分に分かるように教えてもらえるのが当然だ」という子供じみた甘えは捨て去ること。</p> <p>その上で、「講義されている内容を自分自身で考えて理解しよう」という確固たる意志を持ち、私語を慎み毎回静粛に受講すること。</p> <p>そうすればこれまでと異なる観点に立つことができ、本講義本来の効果を各自が最大限に得ることができます。</p> <p>本講義ではレジュメ等の資料を配布することは一切ありませんが、スマホやタブレット等からのネット検索やサイトの利用を適宜指示することがあります。</p> <p>受講者は指定された教科書を必ず購入してください。但し、教科書は単なる教材として手元資料的に利用するに過ぎず、講義内容は教科書通りではありませんので、毎回きちんと聴講しなければ成果は得られません。</p> <p>その他、課題の提示方法等についても詳しくは講義の中で説明しますので、講義は毎回注意深く受講し、指示に従って下さい。こうした日常の情報収集能力が、各自の実力や成績評価にも大きく影響します。</p> <p>本講義で得た知識は、自分が学んでいる様々な専門知識と組み合わせることで、より高い効果を得ることができ、安直にありきたりの答えを求めるのではなく、自分で考える習慣を身に付けてください。</p> <p>なお、講義中に席を立ったり私語が多いなど講義の妨げとなる学生には、講義を中断して注意を促し退席を命じる場合があります。</p> <p>この講義はSMBC日興証券グループによる「寄附講座」です。</p>																																																																								